

人間愛豊かな社会に

AMDA菅波代表講演

備 前

備前市の備前地区更生保護女性会（嶋村定子会長）による講演会が16日、同市伊部のリフレンターびぜんであり、国際医療ボランティア・AMDA（岡山市）の菅波茂代表が「あたたかな人間愛をもって明るい社会づくり」と題して話した。

菅波氏は、人間関係には友人同士のような関係を指す「フレンドシップ」、「一方の「スポンサーシップ」、双方の「パートナーシップ」の三つがあると紹介。「良いことも悪いことも共有し、お互いに信頼や尊敬の念を持つのがパートナーシ

ップ」と述べた。

これら三つの人間関

係を円滑に保つ言葉は「ありがとう」であるとし、「『ありがとう』が頻繁に使われるようになれば、明るくて最高の社会になるのではないか」と述べた。



「ありがとう」の言葉が人間関係を円滑に保つと話す菅波氏

同女性会のメンバーら約50人が聞いた。

（河内慎太郎）